介護新聞
北海道発信の現場ニュース
中央情勢もタイムリーに
情報提供等や購読申し込みは　TEL 011(221)7777　FAX 011(281)2678　Eメール kaigo@medim.co.jp
ホームページ https://www.medim.co.jp

特養コスモス苑

家族意向に応え施設内葬儀

＝札幌市豊平区＝

社会福祉法人彩世会の運営する札幌市豊平区・特養コスモス苑（定員60人）は、家族らの意向を受けて看取り後の入居者葬儀を施設内で行う「苑内葬儀」に取り組んでいる。2017年には葬儀実施について規程を設けて仕組み化した。身寄りの少ない人のほか施設での葬儀を望む家族の要望に沿っており、職員が仕事の合間や退勤時に故人に手を合わせる時間をとれるなど、施設にとっても利点は大きいという。

同法人は施設内での葬儀を、看取りケアの延長線上にあると位置付ける。終末期が近づき、多職種が家族に今後のケアを説明する過程で、丁寧なアプローチを意識した上で葬儀への希望を聞く。施設内葬儀の希望が確定すると、連携する葬儀会社に連絡。家族とともに祭壇、棺、葬儀費用、宗派確認、納骨場所・遺影写真選定など打ち合わせた上で、施設内会議室を会場に葬儀を執り行う。僧侶等は遺族、葬儀会社で手配することが多いという。

看取りケアの延長

実施規程を設け仕組み化

新井元規企画・連携室室長（社会福祉士、ケアマネ）は「ニーズがあれば支援する仕組みをつくり、組織として実践することがご本人と家族の利益になる」とする。新井室長が生活相談員に着任した14年時点で既に苑内葬儀を行っていたが、記録やマニュアルなどなかった。新井室長は「組織として、きちんとした枠組みをつくることが肝要」と規程を策定。葬儀社への業務委託、打ち合わせ、遺体安置、式実施、会場とする会議室利用期限を逝去日、通夜、出棺を含めて3日間とすることなど盛り込んだ。

看取り介護に力を入れる同施設。終末期が近いと予測される入居者には多職種でカンファレンスを行い、嘱託医が家族に予後を説明。他の職種も各領域について話し、家族の希望を聞きながら、その後の介護の進め方を考える。看取り開始後も家族には情報提供を密に、気持ちの揺れ動きにも寄り添い、入居者へのケアも状況に応じて見直していく。施設内葬儀は一連の過程を踏まえた個別援助であり、ソーシャルワークの一環だ。

同施設では年間10～15人を看取る。そのうち苑内葬儀を希望するのは1、2人で、「件数は多くないが、1件でもニーズがあるのならそれは必要な支援」。身寄りの少ない人のほか、長年の生活の場としてきた同施設で葬儀をしてほしいという、家族からの要望もあるという。

22年夏には、101歳で亡くなった女性の葬儀を執り行った。高齢の息子2人は親族の少ないこともあり、「職員も火葬に立ち会い、一緒に骨上げをしてもらえないか」と要望。個別支援として丁寧に寄り添うことを重視し、新井室長が骨上げに立ち会った。火葬場では10年間を施設で過ごした、女性の生前の様子を息子たちと振り返った。最後には「ここまでしていただき、ありがとうございます」と感謝されたという。

施設内葬儀実施は「会場は会議室でよいため、どこの施設でも実践できる。導入までが課題で、（葬儀を）仕組み化すれば、実現の敷居は高くない」という。他法人施設では看取り後、間もなく外部葬祭場に遺体が送られるため、職員らが故人に手を合わせる機会が満足にとれないことが多い。施設内葬儀は、職員が故人との別れを惜しむ時間を確保できるのも大きなポイントだ。

入居者本人、その家族の思いに寄り添うとともに、職員が故人に別れを告げる機会でもある施設内での葬儀。新井室長は「今後は施設で葬儀を行うという選択肢がスタンダードになる。看取り介護と苑内葬儀それぞれの質を落とさず、維持していきたい」と入居者、家族に寄り添った柔軟なサービスを提供する考えだ。

会議室を利用した施設内の葬儀会場

要望に応じて看取り後の入居者の枕元にも祭壇を設ける

宮坂建設工業が車いす寄贈

札幌市北区社協

17年連続、累計55台に

帯広市と釧路市にも

長年にわたる社会貢献に感謝と敬意を伝えた寄贈式

札幌市北区社協は宮坂建設工業（本社・帯広市）から車いす3台寄贈を受けた。17年連続で、寄贈された車いすは累計55台になった。

同社は地域への恩返しの思いで2008年から毎年、本社のある帯広市と支社・支店のある札幌市北区、釧路市に3台ずつ寄贈している。

札幌市内で開かれた寄贈式に出席した広部公聡札幌支社長に、北区社協の田尻芳博会長から感謝状が贈られた。

寄贈された車いすは北区社協から同区グループホーム管理者連絡会を通じ抽選で区内GHに配置される。連絡会代表の相内裕生GH笑顔の村二番地管理者もあいさつで、同社の長年にわたる社会貢献に謝辞を述べた。

キャンナス釧路代表・竹内氏講演

7月27日に道文教大地域創造研フォーラム

北海道文教大学地域創造研究センターはフォーラム「ローカルとグローバルで活躍する看護職　酪農地域での看護実践と世界の看護への挑戦」を、7月27日午後1時20分から同大鶴岡記念講堂大ホール（恵庭市）で開く。

講師は竹内牧場・キャンナス釧路代表の竹内美妃氏（医学博士・看護師）。浜中町で酪農を営みながら地元農協と連携し展開する独自デイサロン活動のほか、国際協力と災害看護の実践を紹介する。

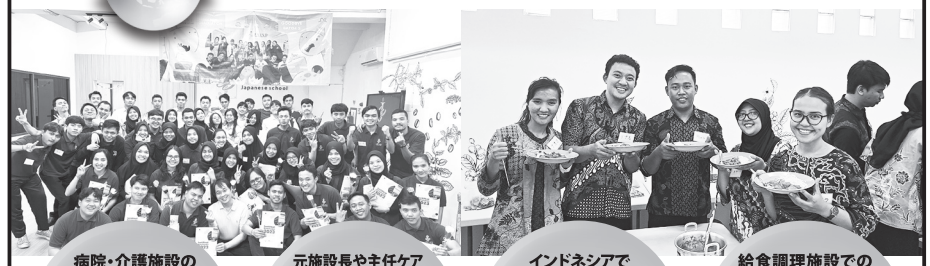
参加費無料で申し込み不要。問い合わせは☎0123(21)8836。

PS
加湿器導入後の違いをぜひ、ご体感ください！
湿度40%RH以上
医療・福祉の“感染症対策”

蒸気式加湿で もっとも衛生的
自動運転・自動給水 手間いらず
確実に 湿度を上げる

緑化優良工場等表彰制度（全国みどりの工場大賞）にて「経済産業大臣賞」を受賞しました
PS札幌工場では、1972年の設立当初から質の高い製品は質の高い環境から生まれるをコンセプトに理想の環境づくりを実践しています。そしてこのたび、工場緑化の取り組みや地域環境の保全が高く評価され、2021年度緑化優良工場等表彰にて「経済産業大臣賞」を受賞しました。

温度と湿度の専門企業
ピーエス株式会社 北海道支店
〒061-1112　北広島市共栄41-3
資料請求・ご相談・現地調査など ぜひ、お問い合わせください
Tel. 011-372-7605　Fax.011-372-8886　Mail. psnrs@psk.co.jp
□ 放射型ラジエータ PS HRヒータ　□ 放射型電気ヒータ PS HR(E)　□ 除湿型放射冷暖房システム PS HR-C
□ 産業用加湿器｜蒸気式・細霧式・気化式　□ 産業用除湿機　□ 空調関連機器

北海道の病院・介護施設で特定技能受け入れなら Jwind

病院・介護施設の受け入れに強い！
北海道内で介護施設を中心に運営するライフグループが母体なので現場の悩みに寄り添った支援が可能です
元施設長や主任ケアマネ有資格者が担当
外国人が入国後、介護現場で経験豊富な職員が御社の外国人のサポート担当として支援を行います
インドネシアで日本語学校を運営
Jwindのグループ会社で現地の日本語学校を運営。年間100名近くの学生を輩出しています
給食調理施設での人材紹介実績有◎
病院や介護施設に併設する給食調理施設が対象となる「外食業分野」の受け入れも対応しています
Jwind受入可能国
インドネシア　スリランカ　ネパール
介護分野対象施設
病院、診療所、老人デイサービスセンター、特別養護老人ホーム（指定介護老人福祉施設）、介護老人保健施設、グループホーム等
受け入れ可能人数
上限は事業所単位で日本人等の常勤介護職員の総数
登録支援機関22 登 007509／有料職業紹介事業01 ユ 300730
株式会社Jwind　〒063-0841 北海道札幌市西区八軒1条西1丁目 3-15
JR琴似駅より徒歩1 分、地下鉄東西線琴似駅より徒歩15 分／駐車場：有
TEL／011-215-6757（平日8:30～17:30）
お問い合わせはメールまたはHPへ
Jwind 検索
info@jwind.jp